

大人が変われば子どもも変わる

「笑顔が導いてくれた夢」

小笠原中学校 杉原杏凜さん



「今日は楽しいひとときをありがとうね。」

学習でお世話になった介護施設で、あるおばあさんからかけられたいた温かい言葉と笑顔がずっと頭から離れませんでした。それはきっと、大好きだった曾祖母の面影と似ていたからだと思えます。三年前に亡くなった曾祖母がこのような機会を与えてくれたのではと思わずにはいられません。

お年寄りの方々に寄り添い、介護に対する家族の不安を取り除き、心を癒やしてあげられるような保健師という夢に向かって、たくさんの人と出会い、自分を高めていきたいと思えます。曾祖母の笑顔を胸に秘めながら。

インターネットの関わり方を持つているのかを把握しきれない保護者の方は多く、保護者の心配事の上位に挙げられています。講演では様々なアプリの紹介や、子供たちとインターネットの関わり方における事例など、実際の相談事案やトラブル事案を紹介し、来場者から好評を得ました。

優良事例発表

鹿角戦隊「リンゴレンジャー」

「これまでの活動報告」

発表者 比内支援学校かづの校

山本 大広 氏

リンゴレンジャーは、平成26年度から比内支援学校かづの校の高等部で取り組んでいる活動です。

鹿角の平和を守るヒーローとして誕生し、鹿角の名産や場所をモチーフにしています。リンゴレンジャーは鹿角警察署から委嘱された「鹿角ヨクシ隊」として街の防犯や非行防止、交通安全について呼びかけるショーやキャンペーン等を行っています。

これまで地域の保育園や小学校等で公演を行い、コモッセの文化ホールでも公演を行っています。活動を通して、生徒自身が交通安全や防犯等の知識を得るだけでなく、役者や演出、道具作りまで自分たちで役割分担を行い、責任感

を持って自分の役割を果たすことや、活動を通じた達成感が、自己肯定感の醸成につながっています。平成30年度には鹿角市から活動への後援承認を得たほか、県の社会貢献団体表彰を受賞されるなど、活動は高く評価されています。

青少年健全育成関係受賞者・受賞団体の功績

○青少年健全育成成功労者 鹿角市市民会議会長表彰 花輪の町踊り保存会 様

昭和63年より、花輪第一中学校、花輪小学校が毎年花輪やしりの子どもレコードにも参加するに



今年度は来年度の町踊り保存会ありたり、町踊りの講習会を開花輪催しています。

学校統合に向けて花輪第一中学校の生徒への講習も実施しています。町踊りの講習会を通じて、地域の小中学校の児童生を通じて伝統文化の素晴らしさを伝えるとともに、青少年の健全育成にも大きく貢献されています。

防ごう!! 「大人の地域忘れ 若者の地域離れ 子どももの地域知らず」

榎木良和様

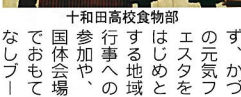
平成23年度より8年間にわたって小学校PTA会長として活動されたほか、かづのPTA連合会会長、秋田県PTA連合会副会長などPTA活動に邁進され、鹿角市社会教育委員会、十和田地域づくり協議会委員、青少年保護育成委員、当市市民会議副会長を歴任されるなど、率先して地域の青少年育成活動にも尽力されています。



榎木良和氏

〇善行青少年 鹿角市市民会議会長表彰 秋田県立十和田高等学校食物部 様

平成20年の発足以来、ボランティア活動や自校内の活動のみならず、地域の活動にも積極的に参加されています。活動を通して、地元の人材への関心を高めることにも、自ら積極的に商品開発に取り組みなど、地域貢献活動を継続しています。



十和田高校食物部

ふるさと少年探検団

市民会議では、市内の小中学生を対象に、地域の歴史や文化について体験する「ふるさと少年探検団」事業を行っています。楽しく学びながら郷土への理解と愛着を深めてもらうことを目的としており、今年度は平元小学校4・5・6学年児童42名を11月8日に招待し、事業を実施しました。

平元小児童は、はじめに十和田大湯地区の国特別史跡大湯環状列石(大湯ストーンサークル)を訪れ、ボランティアガイドの高木さんと敦賀さんの案内で、展示室を見学



国特別史跡大湯環状列石見学

目を背けていた私は申し訳ない気持ちでいっぱいでした。もう一度、曾祖母の笑顔を見たいと心から思うようになりました。一緒に過ごす時間が増える楽しそうな表情や笑顔が見られるようになり、私も自然と笑顔になっていきました。曾祖母とのかけがえのない日々がもたらしてくれたもの、それは一層強く結ばれた家族の絆だと思います。

講演 スマホ時代の子育て 子どもたちとインターネットの関わり方

講師 柏木 睦 氏

普及が著しいスマートフォンをはじめ、子供たちがどのようにイ

し、展示物に関する解説を聞きました。縄文時代全般の解説では、縄文人の食生活や埋葬方法、土器の形状別の用途や埋蔵文化財の解説など多岐にわたって、授業で縄文時代について学習している学年では、良い復習になったようです。また、授業では触れられなかった細かい解説には、新たな発見に驚く様子が見られました。その後、環状列石を見学し、一つで数百キロもある巨石群を運搬して配石するために、は優れた統率力や高度な社会性、持続性のある社会がその基礎であったことを解説され、はるか古代に思いをはせていました。

次に訪問した史跡尾去沢鉱山では、鉱山ガイドの方の説明を受けながら坑道内を見学しました。普段見ることのないような、鉱石を掘り出すための巨大な機械や、採



史跡尾去沢鉱山見学

掘した鉱石の運搬のためのトロッコ電車の線路跡がまだいたるところに残されていること、坑道の総

延長が800キロメートルに達することに驚いていました。坑道の所々で岩盤に鉱脈の露出している箇所があり、石英や銅鉱石の輝きに歓声が上がります。目を輝かせています。鉱山見学の後は、パワーストーン振りを実施しました。パワーストーンの解説を聞きながら、自分の好みの石を夢中になって探していました。

声かけ運動

市民会議では、市民の皆様のご協力のもと、毎月5日5日が休校の場合(翌日)に朝の子どもたちの登校時間に合わせ、「声かけ運動」を実施しています。「おはよう」「気を付けて」「さっしやい」と声をかけながら、通学路に立ち、子どもたちが安全に登校できるよう見守りも実施しています。「声かけ運動」では、子どもたちが元気にあいさつできる習慣が身につく、地域のつながりが深まり、防犯にも効果があるといわれています。

「声かけ運動」は、気軽に行える青少年健全育成活動です。ぜひご参加ください。

白ポスト回収

「白ポスト」とは、性や暴力など、

青少年に有害な雑誌・ビデオ・DVD等を「家庭に持ち込ませない」青少年の目に触れさせない」ために、投入を呼びかける箱のことです。市内では鹿角花輪、十和田南駅前設置されています。今年度は2回の回収作業を実施し、有害図書類(DVDを含む)89点、不適図書類(有害な記事を含む新聞・雑誌等)230点を回収しました。

青少年非行・被害防止 強調月間街頭啓発活動

次代を担う青少年の育成は、地方公共団体、関係団体等がそれぞれ役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら地域が一体となった青少年の非行・被害の防止のための取組を進める必要があることが必要です。このため、7月を「青少年の非行被害防止強調月間」とし、夏休み直前の7月20日(土)に、市内商業施設2カ所において啓発チラシ等の配布を行いました。



街頭啓発運動の様子

防ごう!! 「大人の地域忘れ 若者の地域離れ 子どももの地域知らず」